

2030年の社会に向けて

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ホールガーメント[®]で製法されたオーダーニットでは、1本の糸でできている服だからこそ、ムダのない環境を実現できます。例えば、3歳のころに着ていた服が成長し着れなくなったとしても、それをいちどほき糸を継ぎ足すことで、またニットを編むことができます。環境に配慮されているだけでなく、思い出を引き継げるのも、オーダーニットが生み出す素敵なエピソードです。店頭でオーダーを受け、ニットがその場で完成するよう未来がすぐに来るかもしれません。

関連資料ジャンルのご案内

2F

料理 旅行 住まいと暮らし 美容・健康
ファッション スポーツ・アウトドア 趣味実用
音楽 ビジネス IT ティーンズ 文学
新聞・雑誌 和歌山ことはじめ 有吉佐和子文庫

3F

総記 哲学・宗教 歴史 **社会科学**
自然科学 医学・薬学 技術・工学
産業 芸術 言語 郷土資料
参考図書 移民資料室

4F

児童書

編集後記

2021年が始まる節目に、記念すべき「和 the (ワーザ)」第1号の発行です！はじめて取材、編集をして学びも多かったです。取材は「これで最後です」と言いつつ何度もお邪魔しました。しかし取材を重ねるごとにアパレルを超えた領域や活躍を知ることができました。ここ和歌山から生まれた文化がみなさまにも伝わると嬉しいです。

和歌山市民図書館は市駅前に移転し、新しく誕生したばかりの0歳です。年を重ねていくごとにみなさまと共に和歌山の魅力を再発見し、共有し合い、成長していきたいです。「和 the (ワーザ)」が和歌山の誇りを育むきっかけの一つになることを願って。

和歌山市民図書館

WAKAYAMA CIVIC LIBRARY

〒640-8202 和歌山県和歌山市屏風丁17番地

TEL : 073-432-0010

開館時間：9:00～21:00

図書館の詳しい情報はこちらから



ホームページ



Instagram



facebook

ワーザ
the

1

2021.1.1 発行
TAKE FREE

手袋 から始まった
ニットの可能性

和歌山市民図書館ではご来館くださるみなさまへ、和歌山の文化の魅力を定期的に発信していきます。和歌山の「誇り」を育むきっかけとなるよう走りだします。

取材協力：株式会社島精機製作所

和歌山市民図書館

WAKAYAMA CIVIC LIBRARY

和歌山は昔からニット産業が盛んなのをご存知ですか？
 全国一の産地となったこともあるんです。また、世界に
 誇る技術がここ和歌山から生まれ、今も世界中で活用さ
 れています。記念すべき「和 the (ワーザ)」第1号では、
 意外と知らないニットの秘密に迫ります。

名言から読み解く誕生秘話

アパレル業界に革命をもたらした縫い目のないニット・ホールガーメント®は、ここ和歌山に本社
 をおく島精機から誕生しました。その誕生の裏にあった、さまざまなエピソードを紐解きます。

3つ以上足してオリジナルに

0から新しいものを生み出すのはとても難しいことですよ。ですが
 「猿まねはするな」が島会長の口癖でした。元あるものをそのまま使
 うのではなく、アイデアを3つ以上足してオリジナリティを出せば良い
 ではないか、という考えが生まれました。



いっだってしかけを作る

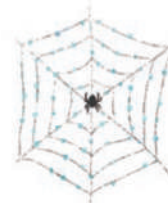
島精機が開発した白い横編機は、お客さまからは「汚れが目立つ」と言われた
 そうです。でも実はあえて白を選んでおり、そこには作り手の「仕掛け」と「思
 い」が隠されていました。糸埃りなどの汚れを目立たせることで、掃除を自然
 に促し、機械の調子を保ち長く使えるようにという心遣いがそこにはあります。

機械の気持ちになって考える

自分が機械ならどう動きたいか？を常に考えて開発に取り組んだそう。自分な
 ら長い距離を移動したくはないし、早いスピードで仕事を進めたい、ならば機
 械にも短い長さで早い動きをさせようと考えたそうです。

救世主はクモ!?

クモは獲物を狙う時、巣の中心に必ず戻る習性
 があるんだとか。9歳のころ島会長は、天井に張っ
 てあったクモの巣を見て気付いたそうです。真ん
 中は獲物(目的)に一番近いですからね。



手袋をさかさまにすると?

現在の無縫製セーターの編み機開発の原点
 は、実は手袋から始まりました。
 手袋を逆さまにし2本指にするとタイツに、人
 差し指～薬指をまとめればタートルネックの形
 になるという発想が力ギとなっています。

チャンスは あの世界的有名企業と!

島精機には、リアルなバーチャルサンプルを作成でき
 る3Dデザインシステムがあります。
 誕生はNASAのお下がりからでした。ちなみにお下が
 りは3つ。その中には島精機とともにチャンスをもの
 にした企業が。残りの行方はぜひ調べてみてください。

歴史から読み解く ニット文化の進化

- 1900年代 和歌山へ丸編み機が初めて導入される
- 1970 全自動シームレス手袋編機が完成する
- 1981 和歌山市民図書館オープン
- 1995 **ホールガーメント®って?**
ホールガーメント®とは、1本の糸でまるごと1着編む製法です。パーツごとに分けて作る通常の服とは違い、ホールガーメント®はさまざまな可能性を秘めています。
- 2000年代 **活用されている分野**
誰もが知るアパレルブランドでもホールガーメント®が使われています。実はあなたが今着ている服もそうかもしれません。心地よい着心地は宇宙でも。縫い目がないからこそ体型維持が困難な場所でも実力を発揮します。
- 2020 和歌山市民図書館が和歌山市駅前に移転しグランドオープン

これからの可能性

パーツをつなげる作業が不要になったことで、制作にかか
 かる時間が大幅に短縮されました。よって、難しい
 と言われていた服の受注生産が可能に。ホールガー
 メント®が生み出す可能性は多岐にわたっています。